一橋大学大学院社会学研究科
博士後期課程　進学要項一式

1．進学要項
2．演習担当教員一覧
3．研究計画書表紙
4．進学願
5．提出物チェックリスト
6．外国からの出願方法について

以上の書類を掲載しておりますので、ご確認ください。

※　来年度の授業科目・担当教員については、一部変更することがあります。

※　災害等で被害に遭われた大学院受験者の方には、検定料免除の措置があります。詳細については一橋大学ホームページ（https://www.hit-u.ac.jp/）の　ホーム＞　一橋大学で学びたい方へ＞　大学院入試の検定料について　にてご確認ください。

一橋大学大学院社会学研究科事務室
〒186-8601　東京都国立市中 2－1
E-mail：info@soc.hit-u.ac.jp

入試番号　SD02

2027 年度　一橋大学大学院社会学研究科
博士後期課程　進学要項

社会学研究科は、社会科学の分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度な専門的職業人を育成することを目的としています。研究科には以下の２つの専攻が設けられており、受験生は希望する指導教員が募集している専攻に応じて、いずれかに属します。総合社会科学専攻では、社会科学の各専門分野の学術的な探究とその総合的な発展を担う意欲と創造性を具えた人材の育成をめざします。地球社会研究専攻では、地球規模の諸課題に対して、学際的かつ創造的に取り組み、実践的な解決を志向する人材の育成をめざします。

博士後期課程は、高度な専門性と豊かな学識、卓越した研究能力を具えた自立的な研究者を育成することを目的としています。博士後期課程を修了した後、(1)大学等の研究教育機関での活躍をめざす方、(2)獲得した研究能力を生かして先端的な専門的職業人をめざす方、のいずれも歓迎します。

１．募集人員

総合社会科学専攻　編入学者と合わせて 30 名
地球社会研究専攻　編入学者と合わせて　５名

２．アドミッション・ポリシー

一橋大学大学院社会学研究科では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力のある専門人、理性ある革新者、指導力のある政治経済人を育成するという本学が掲げる理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

１．求める学生像

一橋大学大学院社会学研究科は、多彩に広がる社会科学及び人文科学の諸分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度専門職業人とを育成し、現代社会の諸課題に対し多様な視点から知的に対応する創造力豊かな担い手を育てます。この理念の実現に向けて、本研究科には、総合社会科学専攻と地球社会研究専攻という二つの専攻が置かれています。

総合社会科学専攻は、各専門分野における学術探究とその総合的発展を担う意欲と創造性と研究能力を備えた人材の育成をめざします。地球社会研究専攻は、問題に焦点をあてる、解決を志向する、西欧中心思想を脱する、という理念のもとで、地球規模の諸課題に対して創造的・実践的に取り組む人材の育成をめざします。

このため、本研究科は、国内外を問わず、次のような人材を広く求めています。

- 各分野において学術研究を遂行していくことを可能にする高度な知的基盤を有し、自立的に学問世界を究めていく意欲と粘り強さを備えた方
- 領域を横断しながら新しい知の世界を切り開く冒険心と課題設定力をもち、大学院での学修を支える幅広い知識と十分な学力を有している方
- 社会の実践的課題の解決に向けて自らの問題関心や経験を学問的に深めていく目的意識をもち、大学院で専門教育を受けるのに必要な知識と十分な学力を有している方

２．入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記の能力を備えた学生を選抜するため、本研究科では以下のとおり多様な入学者選抜を実施します。

博士後期課程

(1) 総合社会科学専攻では、提出論文及び出願書類に基づき一次選考を行い、受験生の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を基準に審査します。二次選考では、面接による口述試験を実施し、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。選抜においては、研究遂行に必要な語学力や日本語の史資料の読解力などを含めて、総合的に評価します。

(2) 地球社会研究専攻では、提出論文及び出願書類に基づき一次選考を行い、受験生の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を基準に審査します。二次選考では、面接による口述試験を実施し、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。選抜においては、研究遂行に必要な語学力などを含めて、総合的に評価します。

３．出願資格

本学大学院社会学研究科修士課程または本学の他研究科の修士課程・博士前期課程・専門職学位課程を修了した者および2027年３月に修了見込みの者。

４．出願期間

WEB出願ページでの出願登録期間及び出願書類提出期間

2026年12月24日（木）～ 2027年１月７日（木）

出願書類持参の場合は、平日10時00分から12時00分、および13時00分から15時00分まで受け付けます（2026年12月29日～１月３日、土曜日・日曜日・祝日は受け付けません）。郵送の場合は、2027年１月７日（木）17時00分必着です（出願期間を過ぎて着いたものについては、2027年１月４日（月）以前の消印のあるものに限り受け付けます）。

５．出願手続

出願手続には、**「WEB出願ページでの出願登録」、「出願書類の郵送または持参」の両方が必要**です。

(1) WEB出願ページでの出願登録

出願期間内に以下のウェブサイトにアクセスし、WEB出願フォームに必要事項を入力してください。

https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nitj-lesbpe-12a462a4e9a4b5ff25cc8acbf8a25a2a

大学院WEB出願ページでの入力内容およびアップロードするファイルについて

① WEB出願ページに掲載されている「大学院出願の流れ」を参照のうえ、ページ内の指示に従って入力を進めてください。
② WEB出願フォーム「資格等」欄は入力不要です。
③ WEB出願フォーム「研究題目」欄には、「６．**出願書類・検定料**」の「研究計画書」の研究題目と同じ内容を入力してください。
④ WEB出願フォーム「特記事項１」欄には、「研究計画書」の希望する指導教員名と同じ教員名を入力してください。（「未定」は不可。）
⑤ WEB出願フォーム「特記事項２」欄には、「研究計画書」の専攻と同じ専攻名を入力してください。（「総合社会科学」「地球社会研究」のいずれかを入力してください。）
⑥ WEB出願フォーム「特記事項３」欄には、「研究計画書」の研究分野と同じ分野名を入力してください。（「社会学研究」「共生社会研究」「歴史社会文化研究」「超域社会研究」のいずれかを入力してください。）
⑦ 顔写真は、試験当日に本人確認のために使用します。試験実施時の確実な照合のために、画像が鮮明なものを用意してください。本人であることが確認できない場合には受験資格を失うことがあります。
⑧ WEB出願フォームの「顔写真データアップロード」は必要ですが、「出願書類アップロード」は不要です。出願書類は郵送または持参により提出してください。

(2) 出願書類の郵送または持参

志願者のうち、本研究科修士課程修了見込みの者は**持参**により、本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程等を修了見込みの者および既に修了した者は**簡易書留郵便（郵便局窓口からの差出）または持参**により、「６．**出願書類・検定料**」の出願書類を一括し、封筒の表面にWEB出願の「志願者個人ページ」から印刷した宛名ラベルを（入試名欄に「研究計画書」に記載した専攻名・分野名を追記のうえ）貼付して、**〒186－8601 東京都国立市中２丁目１番地　一橋大学大学院社会学研究科事務室**　宛てに提出してください。また、外国からの出願を希望する場合は、この「**５．出願手続**」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

なお、本研究科修士課程修了見込みの者がやむを得ない事情で、ハードカバー製本された論文を提出できない場合に限り、論文を「仮提出」することを認めます。提出時に事情をうかがいます（なお、「やむを得ない事情」とは本人の病気や怪我、親族の死去、あるいは製本業者による納入の遅れといった予期せぬ事故、などを指します）。ただし仮提出する場合も、ソフトカバー製本等によって、論文の背の部分が確実に糊付けされて中身の差し替えが不可能な状態のものを、上記の提出期間・場所に本人が持参しなければなりません。ファイル・クリップ・紐綴じ等の形式は認めません。

仮提出した場合、ハードカバーで製本した論文を、あらためて**2027年１月12日（火）13時00分から14時00分の間に**社会学研究科事務室に再提出してください。仮提出だけでは修士論文を正式に提出したとは認められません。また、再提出する論文の内容は仮提出した論文の内容と同一でなければなりません。

６．出願書類・検定料

【重要】研究計画書等の作成に当たっては、アドミッション・ポリシーをよく確認するとともに、自らの目標を達成する研究内容となっているか十分な検討を行い、自らの責任において作成したものを提出してください。

(1) 本研究科修士課程を修了見込みで引き続き進学を希望する者

書　類　等	提出者	摘　　要
志　願　票	全　員	４通。 WEB 出願ページでの出願登録後に「志願者個人ページ」からダウンロードできる志願票をプリントアウトしたもの。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
進　学　願	全　員	１通。 所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士論文等	全　員	修士論文１通（ハードカバーで製本したもの）およびそれを複写したもの３通（簡易製本したもの)。
修士論文等の要　旨	全　員	４通。 修士論文の日本語要旨（4,000 字程度）または英語要旨（1,600 単語程度)。A4 判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
研究計画書	全　員	４通。 日本語または英語で作成し、日本語の場合は 2,000 字以内、英語の場合は 800 単語以内にまとめたもの。１通については所定の用紙を表紙として用い、他の３通は、表紙も含めてそれを複写したもの。表紙には、進学後に指導を希望する教員名を明記してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
在留カード等の写し	外国人志願者	１通。 在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの)）の写しを提出してください。
検　定　料（不　要）	――	検定料（30,000 円）納付は不要ですので、ご留意ください。
提　出　物チェックリスト	全　員	１通。 所定の用紙（提出物チェックリスト）のチェック項目をすべて確認し、☑を入れてください。

(2) 本研究科の修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程等を修了見込みの者および既に修了した者

書　類　等	提出者	摘　　要
志　願　票	全　員	４通。 WEB 出願ページでの出願登録後に「志願者個人ページ」からダウンロードできる志願票をプリントアウトしたもの。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
進　学　願	全　員	１通。 所定の用紙に必要事項を記入してください。

書　類　等	提出者	摘　　要
修士論文等	全　員	３通。 修士論文を複写したもの。ただし、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、修士論文に代わる論文１篇の複写３通。なお、修士論文等の内容と博士後期課程での研究題目が大きく異なる場合は、修士論文に加えて、日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます（この場合も、３通を提出してください)。なお、製本されていないものは１通ずつ綴じてください。
修士論文等の要旨	全　員	４通。 修士論文あるいは修士論文に代わる論文の日本語要旨（4,000 字程度）または英語要旨（1,600 単語程度)。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨４通（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 単語程度）も提出してください。Ａ４判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
研究計画書	全　員	４通。 日本語または英語で作成し、日本語の場合は 2,000 字以内、英語の場合は 800 単語以内にまとめたもの。１通については所定の用紙を表紙として用い、他の３通は、表紙も含めてそれを複写したもの。表紙には、進学後に指導を希望する教員名を明記してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
修士課程修了(見込)証明書	全　員	１通。
成績証明書	全　員	４通。
在留カード等の写し	外国人志願者	１通。 在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者は、パスポートの写しを提出してください。
検定料３０，０００円	全　員	**出願期間内**に銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより検定料 30,000 円を納付してください。 ※いずれの場合においても、振込手数料、支払手数料は各自で負担してください。 ○銀行振込の場合 三井住友銀行　国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：(普通預金）7761819 あてに検定料 30,000 円分を振り込み、**<u>その明細書等の写しをＡ４用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>** ○コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合 本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。 https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html 支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンまたはミニストップ）決済の場合は、**<u>店舗で発行される「収納証明書」をＡ４用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>**その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、**<u>検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、Ａ４用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>** ※支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院　検定料の支

書　類　等	提 出 者	摘　　要
		払方法」を参照してください。 ※支払いサイトでの支払い手順等については、同サイトの「よくある質問（FAQ)」を確認の上、E-サービスサポートセンターに問い合わせてください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する大学発行の証明書を提出してください。
提　出　物 チェックリスト	全　員	１通。 所定の用紙（提出物チェックリスト）のチェック項目をすべて確認し、☑を入れてください。

７．選考方法および選考基準

第１次試験では、提出論文および出願書類に基づき、受験者の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を基準に審査します。受験者の研究課題を指導できる教員がいることも審査の基準です。第１次試験の合格者に対して第２次試験を行います。

第２次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは提出論文および出願書類にそって、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を面接時に行います。ただし、研究課題との関係において外国語の試験が適当でない場合には、日本語の史資料等についての読解試験を行うことがあります。第１次試験と第２次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第１次試験（書類選考）

第１次試験合格者発表および第２次試験（口述試験）試験室・時間割の発表

日　　時	発　　表　　方　　法
2027 年２月５日（金） 13 時 00 分頃	社会学研究科ウェブサイトへの掲載

(2) 第２次試験（口述試験）

試験場　　一橋大学（ＪＲ中央線国立駅下車、南へ徒歩約 10 分）

日　　時	試　　験　　科　　目
2027 年２月 15 日（月） または 2027 年２月 16 日（火） ９時 00 分～18 時 00 分頃	提出論文および研究計画書に関する事項等について試験を行います。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を行います。ただし、研究課題との関係において外国語の試験が適当でない場合には、日本語の史資料等についての読解試験を行います。（本研究科修了者・修了見込者は１人 50 分程度、他研究科修了者・修了見込者は１人 70 分程度）

※ 第２次試験は開始５分前までに試験室へ来てください。試験の際には必ず受験票を持参してください。受験票は出願期間終了からおよそ２週間後に WEB 出願の「志願者個人ページ」から印刷できるようになります。

※ 第２次試験は指定された日時で必ず受験できるよう調整してください。

※ 不正行為を行った者または監督者の指示に従わなかった者は失格とします。

※ 試験当日、大学正門付近において合格者発表を通知するサービス等を行っている者がいる可能性がありますが、本学ではそのような取組みを行っておらず、本学とは一切関係ありません。なお、合格者発表については、研究科ごとにウェブサイト等にて行います。

(3) 配点（満点＝200 点）

第　１　次　試　験	書類選考 100 点
第　２　次　試　験	口述試験 100 点

８．合格者発表

日　　時	発　　表　　方　　法
2027 年２月 18 日（木） 13 時 00 分	社会学研究科ウェブサイトへの掲載 （合格者には郵送にても通知します）

９．注意事項

（入試日程および内容等の変更について）

やむを得ない事由等により、入試日程および内容を変更する可能性があります。その場合は、随時社会学研究科ウェブサイト等で案内します。

（専攻および研究分野について）

(1) 出願後の志望専攻の変更は認めません。

(2) 入学後に指導を希望する教員を１人選択して、選択した教員の担当する専攻・研究分野を WEB 出願フォームと研究計画書に明記してください（演習担当教員一覧参照）。入学後、この教員以外を指導教員（第一演習担当教員）として選ぶことは原則としてできませんので、志願する際は慎重に選択してください。

(3) 希望指導教員への事前相談は、出願期間の開始前であれば受け付けています。教員の連絡先については社会学研究科教員ページ（https://www.soc.hit-u.ac.jp/teaching_staff/）をご参照ください。メールアドレスが掲載されていない場合は、社会学研究科事務室までお問い合わせください。なお、以下の点についてあらかじめご留意ください。

・事前相談の有無は、選考の評価には影響いたしません。

・関心のある研究テーマについて指導が可能かどうか等のご相談は問題ありませんが、出願書類（特に研 究計画書）への具体的な指導は行いません。

（提出書類等について）

(1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。

(2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「**６．出願書類・検定料**」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

(3) 出願に際し不正等があった場合には、入学許可後であっても、これを取り消します。

（修士論文の再提出について）

本学大学院社会学研究科修士課程在籍者で、**この博士後期課程進学試験に不合格となった場合に翌年度も修士課程に在籍して修士論文を提出し直すことを希望する者は、2027 年２月 12 日（金）までに、社会学研究科事務室に「修士論文再提出願」を提出してください。**

これが提出されなければ、進学試験に不合格であっても修士課程最終試験に合格した場合には修士課程を修了することになりますので、十分注意してください。

（心身に障害を有する入学志願者の事前相談について）

本学では、障害等がある方の受験に対して合理的な配慮を行っています。障害等があり受験上配慮を希望する者は、社会学研究科の出願に先立ち、2026 年 11 月 20 日（金）までに、社会学研究科事務室に相談を申請してください。上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことがあります。

事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。

※希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

※修学上の配慮に関する相談窓口は以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室

https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html

（入学料）

博士後期課程進学試験の合格者については、入学の際の入学料納入は不要です。

（国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）について）

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、６月と 12 月（予定）に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。 ※６月は外国人留学生のみとなります。

日本人学生対象（日本への永住が許可されている者も含む）

https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html

外国人留学生対象（「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者）

https://international.hit-u.ac.jp/curr/accom/apply/

※学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。

十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

（その他）

(1) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。
(2) 個人情報の取り扱いについては、WEB 出願ページ「個人情報の取り扱いについて」を参照してください。
WEB 出願ページでの「同意」がない場合、出願できません。
(3) 過去の入学志願者数・受験者数・合格者数及び入学者数については、社会学研究科ウェブサイト(https://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/result.html)に掲載しています。

11. 問い合わせ

(1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。
(2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q＆A」が用意されています。その他、入学試験に関する照会は、住所、氏名を明記の上、書面または電子メールで行ってください。電話での問い合わせには応じられません。
https://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq.html

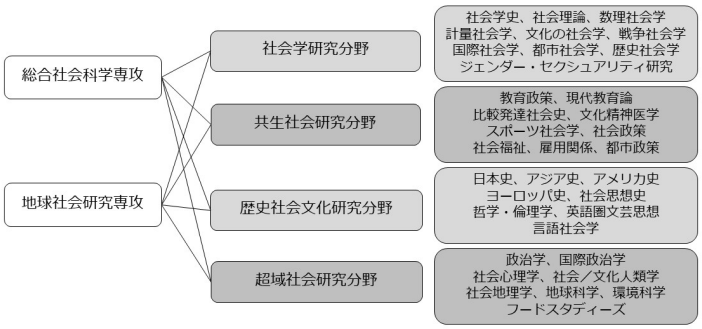
社会学研究科　電子メールアドレス	info@soc.hit-u.ac.jp
社会学研究科　ウェブサイト	https://www.soc.hit-u.ac.jp/

2027年度

一橋大学大学院社会学研究科

演習担当教員一覧(研究分野別)

(●は総合社会科学専攻担当の教員、○は地球社会研究専攻担当の教員、×は第一演習を担当しない教員、下線は当該分野を兼任する教員です。)



(社会学研究分野)

- ●菊谷和宏教授(社会学史、社会理論) fra
- ●佐藤圭一准教授(政治社会学、環境社会学 社会ネットワーク分析、計量社会学) eng, deu
- ●数土直紀教授(計量社会学、社会階層論) eng
- ●多田治教授(文化の社会学 社会理論、観光研究) eng
- ●林真人准教授(都市社会学、地域社会学、批判主義都市研究) eng
- ●根本雅也講師(質的調査法、歴史社会学) eng
- ○飯尾真貴子講師(国際社会学 国際移動研究、移民政策論) eng, spa
- ○竹中歩教授(国際人口移動、人種・エスニシティー、国際社会学、食のグローバル化、都市社会学、エスノグラフィー) eng, spa
- ○佐藤文香教授(ジェンダーの社会理論・社会学 軍隊・戦争の社会学) eng
- ○田中亜以子講師(ジェンダー・セクシュアリティ研究 歴史社会学) eng
- ●山田哲也教授(社会調査、教育社会学) eng
- ●西野史子教授(労働社会学、雇用システム論) eng
- ●松永伸太朗講師(労働社会学、労働過程論) eng
- ●坂なつこ教授(スポーツ・身体文化理論 スポーツ社会学) eng, deu

(共生社会研究分野)

- ●中田康彦教授(教育政策、教育計画論) eng
- ●山田哲也教授(現代教育論、教育問題の社会学) eng
- ●太田美幸教授(比較発達社会史 ノンフォーマル教育) swe
- ●坂なつこ教授(スポーツ社会学 スポーツ・レジャー文化研究) eng, deu
- ●鈴木直文教授(スポーツ社会学 都市政策・コミュニティ政策) eng
- ●鈴木楓太准教授(スポーツ社会学、スポーツ史) eng
- ●猪飼周平教授(社会政策、社会福祉) eng
- ●白瀬由美香教授(社会福祉、社会政策) eng
- ●西野史子教授(労働社会学、雇用政策) eng
- ●松永伸太朗講師(労働社会学、労働政策) eng
- ●堂免隆浩教授(都市政策、地域政策 コミュニティ政策) eng

(歴史社会文化研究分野)

- ●石居人也教授(日本史、日本近現代史)
- ●加藤祐介講師(日本史、日本政治史) eng
- ●鈴木直樹講師(日本史、日本近世史) eng
- ●洪郁如教授(アジア史、台湾近現代史 帝国植民統治史、歴史と記憶の研究) zho
- ●佐藤仁史教授(アジア史、中国近世・近現代史 日中関係史) zho
- ●加藤圭木教授(アジア史、朝鮮近現代史 日本の戦争・植民地支配) kor
- ○貴堂嘉之教授(アメリカ史、人種・ジェンダー・エスニシティ研究) eng
- ○牧田義也講師(アメリカ史 グローバルヒストリー) eng
- ○田中亜以子講師(ジェンダー史・セクシュアリティ史) eng
- ●秋山晋吾教授(ヨーロッパ史 東ヨーロッパ地域研究) fra, hun
- ●小西正紘講師(ヨーロッパ史) eng
- ●柏崎正憲講師(社会思想史、経済学史) eng, deu, fra
- ●井頭昌彦教授(哲学・倫理学) eng
- ●吉沢文武准教授(哲学・倫理学) eng
- ●井川ちとせ教授(英語圏文芸思想) eng
- ●寺尾智史教授(言語社会学) eng, spa, por

(超域社会研究分野)

- ●小椋郁馬講師(政治学、政治行動論) eng
- ●田中拓道教授(政治学、比較政治 政治理論) eng, fra
- ●ジョナサン・ルイス教授(政治学、社会情報学 メディア研究) eng
- ●福富満久教授(国際政治学、国際関係論) eng, fra
- ●稲葉哲郎教授(社会心理学、メディア効果研究 世論研究) eng
- ●宮本百合教授(社会心理学、文化心理学) eng
- ●後藤伸彦講師(社会心理学、社会的認知) eng
- ×大杉高司教授(社会/文化人類学) eng
- ●久保明教教授(社会/文化人類学) eng
- ×上田元特任教授(社会地理学、地域・環境と開発) eng
- ●小泉佑介講師(社会地理学、地域研究 人間と環境) eng
- ●小倉拓郎講師(自然地理学、地形学、地理教育) eng
- ●大坪俊通教授(地球科学) eng
- ●大瀧友里奈教授(環境科学、環境配慮行動) eng
- ●赤嶺淳教授(フードスタディーズ 環境と社会) eng
- ●鈴木直文教授(開発研究、スポーツと開発) eng

教員名の横の () は専門分野を示します。指導可能な対象領域を限定するものではありません。
教員名の末尾の言語記号は、日本語以外に個別指導等で補助的に対応可能な言語です。
deu ドイツ語、 eng 英語、 fra フランス語、 hun ハンガリー語、 kor 韓国語、 por ポルトガル語、 spa スペイン語、
swe スウェーデン語、 zho 中国語
なお、この表記は本研究科における講義が表記の言語で履修できることを保証するものではありません。また、修士論文・博士論文は
日本語もしくは英語で執筆するものとされています。

受 験 番 号
※

年度

一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程
入学志願者 研究計画書

● **口述試験希望外国語**（希望する外国語があれば記入すること）

第 1 希望	
第 2 希望	
第 3 希望	

● **研究題目**（具体的に）

_____

● **氏　　名** _____

● **希望する指導教員名**（必ず 1 名選ぶこと（「未定」は不可））

_____

● **（希望指導教員が担当する）専攻**（いずれかに〇をすること）

総合社会科学　　地球社会研究

● **（希望指導教員が担当する）研究分野**

（いずれかに〇をすること。希望指導教員が複数の分野を兼任している場合は、研究題目との適合度を考慮したうえで、どちらかの研究分野を選択すること。）

社会学研究　　共生社会研究　　歴史社会文化研究　　超域社会研究

【 注 意 】

1.「 ※ 」印欄には記入しないこと。

2. この表紙も含め、3 通複写して合計 4 通を提出すること。

年　　月　　日

一 橋 大 学 長　　殿

志願者氏名：

所属研究科：　　研究科

専　　攻：　　専攻

指導教員氏名：

一橋大学大学院博士後期課程進学願

一橋大学大学院博士後期課程に進学を希望いたしますので、ご許可くださいますようお願いいたします。

提出物チェックリスト

博士後期課程（進学）【（1）本研究科修士課程を修了見込で引き続き進学を希望する者】

氏名	受験番号（大学使用欄）

【留意事項】

以下のチェック項目をすべて確認し、チェック欄に✓を入れてください。

チェック項目	チェック欄	大学使用欄
「演習担当教員一覧」で、希望する指導教員が担当する専攻および研究分野を確認した。 【例】佐藤文香教授を希望する場合→地球社会研究専攻 社会学研究分野	☐	
入学後は希望する指導教員が担当する専攻および研究分野が自身の専攻・研究分野となることを確認した。	☐	

【志願専攻・研究分野】

・希望する指導教員が担当する専攻をマルで囲んでください。

41.総合社会科学専攻　　42.地球社会研究専攻

・希望する指導教員が担当する研究分野をマルで囲んでください。

1.社会学研究　　2.共生社会研究　　3.歴史社会文化研究　　4.超域社会研究

【提出物チェック】

以下、提出書類が不備なく揃っているか確認し、チェック欄に✓を入れてください（任意など該当しないものには✓不要）。

提出者	書類等	部数	摘要	チェック欄	大学使用欄
全員	志願票	4通	WEB出願ページでの出願登録によって作成したもの	☐	
			研究題目、特記事項1～3が研究計画書と同じ内容で正しく入力されている	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
全員	進学願	1通	所定の用紙に必要事項を記入している	☐	
全員	修士論文等	4通	修士論文（ハードカバーで製本したもの）1通	☐	
			修士論文を複写したもの（簡易製本したもの）3通	☐	
全員	修士論文等の要旨	4通	・日本語4,000字程度または英語1,600単語程度	☐	
			A4判の表紙（任意様式）をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記している	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
全員	研究計画書	4通	日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は800単語以内	☐	
			所定の表紙を使用し、希望する指導教員名を明記している	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
外国人志願者	在留カード等の写し	1通	在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない場合はパスポートの写し	☐	
ー	検定料（不要）	ー	検定料の納付は不要	☐	
全員	提出物チェックリスト	1通	すべての項目を確認し、該当するチェック欄に✓を入れる	☐	

提出物チェックリスト

博士後期課程（進学）【（2）本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者】

氏名	受験番号（大学使用欄）

【留意事項】

以下のチェック項目をすべて確認し、チェック欄に✓を入れてください。

チェック項目	チェック欄	大学使用欄
出願書類が、出願期間を過ぎて郵送で到着した場合、2027年1月4日以前の消印のあるものに限り受理されることを確認した。	□	
「演習担当教員一覧」で、希望する指導教員が担当する専攻および研究分野を確認した。 【例】佐藤文香教授を希望する場合→地球社会研究専攻 社会学研究分野	□	
入学後は希望する指導教員が担当する専攻および研究分野が自身の専攻・研究分野となることを確認した。	□	
英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付する必要があることを確認した。	□	
「募集要項」に明記されている場合を除き、各種証明書（成績証明書等）は必ず原本を提出する必要があることを確認した。	□	
複数の大学院を修了（見込）の場合は、すべての大学院における「修了（見込）証明書」と「成績証明書」が必要であることを確認した。	□	

【志願専攻・研究分野】

・希望する指導教員が担当する専攻をマルで囲んでください。

41.総合社会科学専攻　　42.地球社会研究専攻

・希望する指導教員が担当する研究分野をマルで囲んでください。

1.社会学研究　　2.共生社会研究　　3.歴史社会文化研究　　4.超域社会研究

【提出物チェック】

以下、提出書類が不備なく揃っているか確認し、チェック欄に✓を入れてください（任意など該当しないものには✓不要）。

提出者	書類等	部数	摘要	チェック欄	大学使用欄
全員	志願票	4通	WEB出願ページでの出願登録によって作成したもの	□	
			研究題目、特記事項1～3が研究計画書と同じ内容で正しく入力されている	□	
			1通ずつホチキス留めしている	□	
全員	進学願	1通	所定の用紙に必要事項を記入している	□	
全員	修士論文等	3通	・修士論文を複写したもの ・修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、修士論文に代わる論文1篇を複写したもの ・修士論文等の内容と博士後期課程での研究題目が大きく異なる場合は、修士論文に加えて日本語または英語で作成した補充論文を提出できる（この場合も3通）	□	
			製本されていないものは1通ずつ綴じている	□	
全員	修士論文等の要旨	4通	・日本語4,000字程度または英語1,600単語程度 ・補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨4通 （日本語4,000字程度または英語1,600単語程度）	□	
			A4判の表紙（任意様式）をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記している	□	
			1通ずつホチキス留めしている	□	
全員	研究計画書	4通	日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は800単語以内	□	
			所定の表紙を使用し、希望する指導教員名を明記している	□	
			1通ずつホチキス留めしている	□	
全員	修士課程修了（見込）証明書	1通	「修了証明書」または「修了見込証明書」（原本）	□	
全員	成績証明書	4通	原本1通、写し3通	□	
外国人志願者	在留カード等の写し	1通	在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない場合はパスポートの写し	□	
全員	検定料（30,000円）納入の証明書	1通	・検定料を納入のうえ、「明細書等」または「収納証明書」（A4サイズに満たない場合はA4用紙に貼付） ・銀行振込の場合は社会学研究科検定料口（※下記参照）に振り込んでいるか確認 ・日本政府（文部科学省）奨学金留学生は検定料不要であるため、その旨を証明する所属大学発行の証明書	□	
全員	提出物チェックリスト	1通	すべての項目を確認し、該当するチェック欄に✓を入れる	□	

※銀行名：三井住友銀行国立支店　口座番号：（普通預金）7761819
　口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科検定料口

別紙　＜博士後期課程入試用＞

外国からの出願方法について

①日本在住の代理人に依頼する場合（できる限りこちらの方法をとってください）

日本在住の代理人に、募集要項にしたがって①検定料の振り込み、および②出願書類を一括し出願期間内に必着するように郵送（簡易書留郵便）することを依頼してください。持参の場合は、あらかじめ検定料を振り込んでもらい、その明細書等の写しを出願書類と一緒に社会学研究科事務室に提出することを依頼してください。

②本人が直接出願する場合（①の方法がとれない場合のみこちらの方法をとってください）

●検定料の納入はクレジットカード決済で行ないます。

一橋大学ウェブサイト HOME（https://www.hit-u.ac.jp/）から＜一橋大学で学びたい方へ＞にアクセスし、「大学院入試の検定料について」（https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html）より検定料支払いサイトのリンクをクリックして入力画面に進み、指示にしたがって検定料を納入してください。

出願書類を送付する時には、検定料の納入を済ませ、ウェブ上の納入確認画面をプリントアウトしたものを添付してください。

検定料の納入は出願期間内に行なってください。

●志願者は、募集要項「**6. 出願書類・検定料**」にある出願書類を一括し、封筒（送付状等）に「**APPLICATION DOCUMENTS**」と記載して、EMS や DHL 等の記録に残る方法で

Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, JAPAN

（〒186-8601　東京都国立市中 2 丁目 1 番地　一橋大学大学院社会学研究科事務室）

宛てに送付してください。WEB 出願の「志願者個人ページ」から印刷できる宛名ラベルは、外国から郵送する場合は使用できません。**出願締切は 2027 年 1 月 7 日 17 時（日本時間）必着です。出願締切以降に受取った出願書類については一切受付けません。**

注 意

※　本人が外国から直接出願する場合には、郵送上のトラブル等本人に責任がない出来事によって手続きが完了しなかったケースでも、出願を受け付けられないことがあります。この点、あらかじめご了承ください。

一橋大学大学院社会学研究科